

令和5年産国内産農産物銘柄設定等申請状況

令和4年11月1日

府県	滋賀県	滋賀県	滋賀県	滋賀県	京都府	京都府
種類	水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米	水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米	普通裸麦	普通小粒大麦	醸造用玄米	普通小麦
品種名	滋賀82号	滋賀83号	フクミファイバー	ミノリムギ	祝2号	ニシノカオリ
申請者	滋賀県	滋賀県	中村農園	グリーン近江農業協同組合	全国農業協同組合連合会京都府本部	京都府
設定・廃止区分変更	設定	設定	設定	廃止	設定	廃止
必須・選択の区分	選択銘柄	選択銘柄	選択銘柄	必須銘柄	「祝」の品種群を設定	必須銘柄
検査を行う登録検査機関	全農滋賀県本部、JALレーク滋賀、JA甲賀、JAグリーン近江、JA滋賀蒲生町、JA東能登川、JA湖東、JA東びわこ、JALレーク伊吹、JA北びわこ、滋賀農産物検査協同組合、滋賀農民連産直農業協同組合、有限会社フクハラファーム、一般財団法人日本穀物検定協会関西神戸支部滋賀出張所、有限会社カタギリ、株式会社二五八のうけん、びわこ食糧検査合同会社	全農滋賀県本部、JALレーク滋賀、JA甲賀、JAグリーン近江、JA滋賀蒲生町、JA東能登川、JA湖東、JA東びわこ、JALレーク伊吹、JA北びわこ、滋賀農産物検査協同組合、滋賀農民連産直農業協同組合、有限会社フクハラファーム、一般財団法人日本穀物検定協会関西神戸支部滋賀出張所、有限会社カタギリ、株式会社二五八のうけん、びわこ食糧検査合同会社	一般財団法人日本穀物検定協会関西神戸支部滋賀出張所		JA京都、JA京都やましろ、JA京都中央、JA京都市、JA京都丹の国、株式会社三豊、株式会社八木商店、有限会社三光園	
令和3年産生産状況作付け面積(ha)			1.4ha		0.43ha	
令和3年産生産状況検査実績(t)			-	-	-	
令和4年産生産状況作付け面積(ha)	1.4ha	1.2ha	3.2ha	-	1.9ha	
令和4年産生産状況検査実績(t)	-	-	-	-	-	
品種の特性	出穂期は「ゆめおうみ」より4日早く、成熟期は「ゆめおうみ」より2日早い、中生の早熟期の品種である。「ゆめおうみ」より多収であり、白未熟粒が発生しにくく、玄米外観品質は優れる。食味は「ゆめおうみ」より優れ、「コンヒカリ」と同等である。「ゆめおうみ」と比較して稈長は3cm長く、耐倒伏性は「やや強」であるが、一般的な栽培法であれば収獲に支障が出るような倒伏の危険性は低い。高温登熟性は「ゆめおうみ」より優れる。「中」、穂発芽性は「ゆめおうみ」より優れる。「かなり難」である。葉いもちほ場抵抗性、穂いもちほ場抵抗性とも「ゆめおうみ」より弱い「弱」、綿葉枯病には罹病性である。	出穂期は「日本晴」より1日遅く、「秋の詩」より4日早い。成熟期は「日本晴」より2日遅く、「秋の詩」より4日早い中生の晩熟期の品種である。「日本晴」、「秋の詩」より多収であり、玄米外観品質も優れる。食味は「日本晴」および「秋の詩」より優れる。稈長は「日本晴」、「秋の詩」より短く、耐倒伏性は「強」である。高温登熟性は「日本晴」、「秋の詩」より強い「やや強」である。穂発芽性は「秋の詩」と同等の「やや難」である。葉いもちほ場抵抗性は「秋の詩」より優れ、「日本晴」と同等の「中」、穂いもちほ場抵抗性は「秋の詩」より強いが「日本晴」より弱い「やや弱」である。綿葉枯病には罹病性である。	本品種は、六条、やや短稈で、もち性の裸麦である。「キラリモチ」と比較すると出穂期、成熟期ともに、1日ほど遅い。稈長は、9センチ程度長く、粒の色は淡黄色(キラリモチ同様)、千粒重は小さく、β-グルカン含量は2倍あり、硝子率はやや大きい。		「祝2号」は、京都オリジナル酒造好適米品種である「祝」に短稈、多収等の特性を持つ水稲品種を交配し、栽培特性や収量性が高く、「祝」と同様の高い酒造適性を持つ系統を選抜して育成した品種である。このため、「祝」より短稈で多収であるものの、出穂期、成熟期、千粒重や心白発現率等の玄米特性、酒造適性等はほぼ同等である。また、短稈であるため倒伏しにくく、「祝」より栽培管理が容易である。	
申請理由	「滋賀82号」は、同熟期の奨励品種であるが作付が少ない「ゆめおうみ」と比較し、食味、品質、収量、高温登熟性にも優れ、気候変動下においても安定栽培しやすく、近江米ブランドを牽引する主力になると期待できる品種である。「滋賀82号」の推進を図り、近江米のブランド力向上につなげるためには産地品種銘柄の表示が必要であり、銘柄設定の申請を行う。	「滋賀83号」は、「日本晴」および「秋の詩」と比較し、良食味、多収であり、気候変動下において栽培しやすく、近江米ブランドを牽引する主力になると期待できる品種である。「滋賀83号」の推進を図り、近江米のブランド力向上につなげるためには産地品種銘柄の表示が必要であり、銘柄設定の申請を行う。	フクミファイバーは3年前にもち麦ブームをおこしたキラリモチ同様モチ性麦で炊飯しても黒ずまない遺伝子をもち、かつ、健康要素である水溶性食物繊維がキラリモチの2倍あるため、キラリモチの半量で1日摂取量が取れる。また、白米に混ぜ込む量も少なくて済み、かつ小粒でご飯と同じサイズのため白米のみのご飯とそん色なく、もち麦ご飯の苦手な方も受け入れられる。実需者から早期に量産を期待されているため、滋賀県での普及拡大を目指して銘柄設定を申請する。	元年産から4年産に至る間、作付面積及び検査実績がないこと、また、既にファイバーズノウに作付転換されており、今後、作付けされる状況にはないため銘柄の廃止を申請する。	現在京都府下で栽培している「祝」の改良品種として、作付拡大が見込まれるため。	近年3ヶ年で検査実績がないこと、また、せとぎらに作付転換されており、今後作付けされる状況にないため。
他府県の銘柄設定状況	-	-	-	-	-	